

兵庫県但馬水産技術センターだより

赤潮情報 TAK-7-01 号

令和7年7月4日発行

7月3日に香住漁港で海面に着色が確認されたため、7月3日と4日に有害赤潮プランクトンの調査を実施しました。

【概況】

- ・香住漁港東港ふれあいデッキで有害赤潮種シャットネラ・マリーナが、7/3には1 mLあたり11.0細胞、7/4には64細胞確認されました。
- ・香住漁港西港(香住)において同様の調査を臨時で実施したところ、同じくシャットネラ・マリーナが1 mLあたり2細胞確認されました。
- ・褐色～赤褐色に着色した海域は、シャットネラが赤潮を形成している可能性があります。
- ・生け簀で蓄養中の魚類をへい死させる可能性があるため、漁船の活け間や活魚水槽の取水などにご注意願います。

【注意が必要な赤潮プランクトンの密度】

シャットネラ・アンティカ、マリーナおよびオバータの合計値

注意体制: 10細胞/mL 警戒体制: 100細胞/mL

【有害赤潮プランクトン検鏡結果】

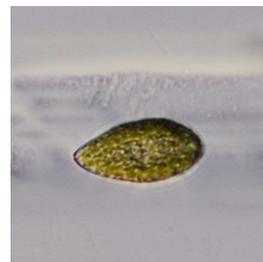
(海水1 mLあたりの細胞数)

調査定点	採水層 (m)	シャットネラ・マリーナ
陸上からの採水	香住漁港東港(7/3)	11
	" (7/4)	64
	香住(7/4)	2



【今後の調査予定】

- ・今後、海況によって臨時調査を実施した場合は、「赤潮情報」としてお知らせいたします。



シャットネラの光学顕微鏡写真

【参考】シャットネラについて

- ・本種は、海水1 mLあたり100細胞ほどで魚類をへい死させることがあり、これまでに西日本を中心に大きな漁業被害(特に養殖魚)が発生しています。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター (担当: 中村 Tel: 0796-36-0395)
兵庫県但馬県民局但馬水産事務所 (担当: 水産課・峰、渡邊 Tel: 0796-36-1153)
ホームページ: <http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm>